中部地方

名前

問1　石川県を含む日本海側の地域では、農業産出額において米の占める割合が高い傾向にあります。この地域で稲作が盛んになった地理的な背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥に強い稲の品種改良が進んだため。
2. 広大な平野部が広がり、一年中高温多湿な気候を利用した二期作が行われているため。
3. 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。
4. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹くことで、稲の成長が促進されるため。

問2　日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。（2021年 徳島県公立入試 類似）

1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
2. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。
3. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。
4. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。

問3　三重県は中京工業地帯の一角を担い、年間の製造品出荷額等の合計が10兆円を超える全国有数の工業県です。この県の工業出荷額の内訳において、約24.6%を占めて最大となっている産業はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 印刷業
2. 食料品工業
3. 化学工業
4. 輸送用機械工業

問4　長野県において、農業産出額に占める野菜や果実の割合が、米などの他の品目と比較して高くなっている理由として、地理的な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、冬でも野菜を栽培する促成栽培が盛んなため。
2. 広大な平野部で大型機械を導入した米の単作が効率的に行われているため。
3. 標高が高い地域の冷涼な気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。
4. 大都市に隣接しているため、土地を高度に利用したビニールハウスによる施設園芸が主流だから。

問5　日本の5つの県を比較した統計において、県土に占める山地の割合が約85%と極めて高く、かつぶどうの栽培面積や収穫量が日本一である県はどこですか。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 山梨県
2. 岡山県
3. 愛媛県
4. 長野県

問6　都道府県別の平均標高を示した統計において、山梨県や群馬県を抑えて最も高い1132メートルを記録している長野県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）

1. 冬の温暖な気候と日照時間を活かし、ビニールハウス等を用いて出荷時期を早める促成栽培が盛んである。
2. 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。
3. 周囲を海に囲まれた温暖な気候を活かし、早場米の生産や花卉の栽培が大規模に行われている。
4. 内陸の盆地特有の、夏に高温多湿となる気候を活かして稲作の二毛作が盛んに行われている。

問7　2015年に長野から金沢駅まで延伸開業した北陸新幹線が、地域社会や交通網に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。
2. 新幹線の整備によって運賃が大幅に低下したため、自家用車や高速バスを利用する人がいなくなった。
3. 交通の利便性が向上したことにより、地方から東京へ人口が集中する「ストロー現象」が解消された。
4. 新幹線開通と同時に並行する在来線の運行本数が増加し、地域住民の日常的な利便性が飛躍的に向上した。

問8　中部地方の4つの県（新潟県、富山県、長野県、愛知県）を比較した統計において、面積が約1万3562平方キロメートルと4県の中で最も広く、かつ果実の産出額が約557億円に達し、他県（約22億円～207億円）と比べて際立って高い数値を示している県はどこか、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）

1. 新潟県
2. 富山県
3. 愛知県
4. 長野県

問9　日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 新潟県
2. 埼玉県
3. 富山県
4. 長野県

問10　山梨県の上野原市付近は、桂川（相模川）沿いに形成された河岸段丘が見られる地域です。この地域の地形図において、道路の北側に崖がそびえ、南側を鉄道の線路が並行して走っているような土地利用が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 洪水の被害を避けるために、あえて居住地や道路を山の頂上付近に集中させているから。
2. 鉄道の脱線を防ぐため、風よけとして北側に人工的な高い壁を建設することが法律で定められているから。
3. 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。
4. 広大な平野部において、最短距離で都市間を結ぶために周囲の地形に関わらず直線的に線路を敷いたから。

問11　ぶどうの生産量が全国1位である県について、その地理的な特徴や農業の様子として最も適当なものはどれか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 太平洋側に位置し、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである
2. 内陸県に位置し、高冷地でのレタスなどの抑制栽培が盛んである
3. 日本海側に位置し、広大な平野で水田単作が行われている
4. 内陸県に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである

問12　冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 南西諸島の気候
2. 北海道の気候
3. 瀬戸内の気候
4. 中央高地の気候

問13　長野県において、リンゴやブドウといった果樹栽培が盛んに行われている理由として、この地域の気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 一年を通じて温暖で、黒潮の影響により冬でも霜が降りにくい気候であるため
2. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、雪解け水が豊富なため
3. 梅雨や台風の影響を強く受け、年間を通じて非常に降水量が多い気候であるため
4. 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。	石川県などの日本海側の地域では、冬に湿った季節風の影響で大量の雪が降ります。この積雪は春になると雪解け水となり、稲作に不可欠な灌漑用水（農業用水）として利用されます。このような自然のサイクルが、北陸地方を日本有数の穀倉地帯へと発展させました。なお、やませは東北地方の太平洋側に吹く風であり、二期作は主に高知県などの温暖な地域で見られる特徴です。
問2	答え 1 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。	北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要となる大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。
問3	答え 4 輸送用機械工業	三重県は愛知県などとともに日本最大の工業地帯である中京工業地帯を構成しています。統計上、四日市市の石油化学コンビナートを背景とした化学（12.5%）や石油・石炭製品（7.6%）の割合も高いですが、鈴鹿市などに大規模な工場が集まる自動車関連の「輸送用機械」が全体の約4分の1を占め、最も主要な産業となっています。
問4	答え 3 標高が高い地域の冷涼な気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。	長野県では、夏の涼しい気候を利用して出荷時期をずらす野菜の抑制栽培（高原野菜）が行われています。また、傾斜地は水はけが良いため果樹園に適しており、リンゴなどの栽培に利用されています。このような自然環境に合わせた適地適作が行われていることが、農業産出額の構成に反映されています。
問5	答え 1 山梨県	中部地方の中央高地に位置する山梨県は、県土の大部分が山地で占められていますが、甲府盆地の気候や扇状地という地形を活かした果樹栽培が非常に盛んです。特にぶどうの収穫量は全国1位であり、盆地の斜面や水はけの良い土地を有効に活用した農業が特徴です。
問6	答え 2 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。	長野県は平均標高が日本で最も高く、夏でも涼しい高冷地の気候を有しています。この気候条件を利用し、平地での出荷が減少する夏場にレタスなどの高原野菜を収穫・出荷する「抑制栽培」が発達しました。これにより、他の産地と出荷時期をずらすことで、市場において有利な価格で販売することが可能になっています。
問7	答え 1 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。	北陸新幹線の延伸により、首都圏と北陸地方を結ぶ鉄道の所要時間が大幅に短縮されました。これにより、金沢駅を中心とした観光地へのアクセスが向上し、交流人口の増加や観光消費による経済効果がもたらされました。一方で、新幹線の運賃は安価になるわけではなく、また大都市へ人や経済が吸い寄せられる「ストロー現象」や、並行在来線の経営分離といった課題も存在します。
問8	答え 4 長野県	長野県は中部地方で最大の面積を持ち、その多くを山地が占めています。内陸の盆地を中心とした地形は、冷涼な気候や日当たりの良さを生かした果樹栽培に適しており、リンゴやブドウなどの産出額が近隣県に比べて非常に高いのが特徴です。一方、新潟県は米、愛知県は野菜や花の産出額が高いという異なる特徴を持っています。
問9	答え 1 新潟県	越後平野は日本有数の稲作地帯であり、この平野を抱える新潟県は米の生産量が全国トップクラスです。また、戦国時代には上杉謙信がこの地を治めていました。選択肢にある長野県と埼玉県は内陸県であり、富山県は新潟県の隣に位置しますが越後平野は含みません。
問10	答え 3 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。	上野原市周辺のような中山間地域では、山地や河岸段丘の崖によって、大規模な開発が可能な平坦地が制限されています。そのため、かつての街道や現在の国道、そして鉄道（中央本線）などの交通網は、地形の制約を受けながら、崖と河川の間の狭い空間に集中して配置されるという特徴的な土地利用が見られます。
問11	答え 4 内陸県に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである	ぶどうの生産量が全国1位の県は山梨県である。山梨県は海に面していない内陸県であり、甲府盆地の扇状地など水はけの良い地形を生かして果樹栽培を行っている。「高冷地でのレタス」は同じ内陸県である長野県の特徴であり、誤答として選ばれやすい。「日本海側」は新潟県や山形県など、「太平洋側」は高知県や宮崎県などの特徴である。
問12	答え 4 中央高地の気候	山梨県の甲府盆地や長野県の長野盆地などは、季節風の影響を直接受けにくい内陸に位置しているため、他の地域と比較して降水量が少なくなります。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、夏は日中の気温が非常に高くなる盆地特有の性質を持っています。
問13	答え 4 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため	長野県は海から離れた内陸部に位置するため、海岸部に比べて季節や昼夜による気温の変動が激しい「内陸性気候」が見られます。果樹栽培において、この寒暖差は果実の糖度を高める重要な要因となります。また、盆地では比較的降水量が少なく、日照時間が長いことも果物の育成に適しています。